

〔別添－４〕 ＥＴＣ時間帯割引のご利用に伴う交通の変化

- 東北道などでは、深夜割引や早朝夜間割引が適用される深夜・早朝(22時～翌6時)の交通量が、割引導入前^{※1}の平成16年同期と比較して増加しており、割引時間帯の利用促進が図られました。
- 東北道などの下り方面では、早朝夜間の交通量が増加して、渋滞が発生するピーク時の交通量が減少する交通シフトが図られた日がありました。この割引制度の導入により渋滞ポイントを通過する交通を交通量の少ない時間帯にシフトさせる交通分散が促進されました。

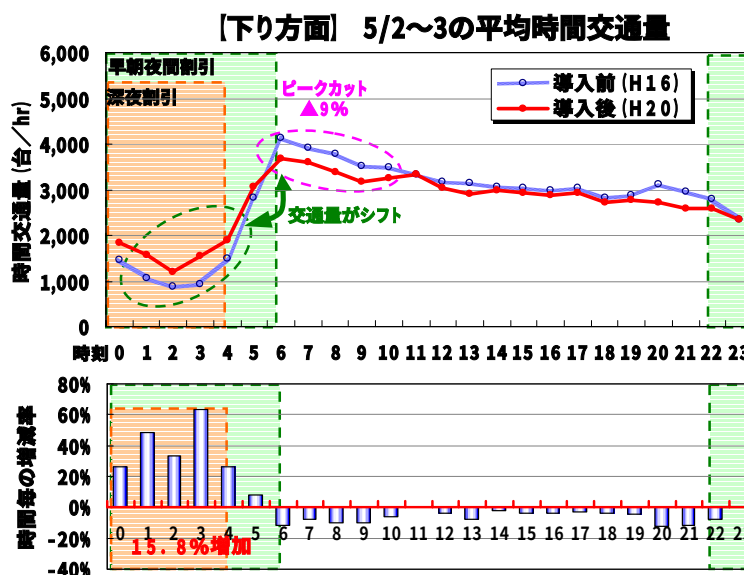
※1 早朝夜間割引が平成17年1月からの導入のため、比較は導入前の平成16年とした

① ＥＴＣ時間帯割引導入前後の交通状況

下り方面の交通の変化、渋滞状況 (交通量のピーク期間 5/2(金)～3(土)のデータ)

区 分	割引導入前 (H16)	割引導入後 (H20)	増減
日交通量	66.2 千台	65.0 千台	▲1.8%
深夜割引、早朝夜間割引時間帯の交通量(22:00～翌6:00)	13.9 千台	16.1 千台	+15.8%
ピーク時の交通量(6:00～11:00)	18.8 千台	17.1 千台	▲9.0%
上記の割引時間帯以外の交通量(11:00～22:00)	33.5 千台	31.8 千台	▲5.1%

ＥＴＣ時間帯割引導入後の交通変化 (導入前(H20)と導入後(H16)の比較)



対象区間：東北道 浦和IC～岩槻IC(下り)
関越道 大泉JCT～所沢IC(下り)

常磐道 三郷JCT～流山IC(下り)
〔IC：インターチェンジ、JCT：ジャンクション〕

対象期間：下り方面の交通量のピーク期間

下り方面：導入後(H20) 5/2(金)～5/3(土)の2日間
導入前(H16) 4/30(金)～5/1(土)の2日間

交通量：トラカンデータによる速報値